

新機種紹介 機関誌編集委員会

▶ 〈06〉 基礎工事機械

21-〈06〉-05	住友重機械建機クレーン リーダ式アースドリル SDX407-2	'22.1 発売 仕様追加
------------	---------------------------------------	------------------

都市部の再開発など、高度かつ難しい施工を強いられる基礎現場に対応するアースドリルである。SDX407-2 テレスコピックブーム式アースドリルに、リーダ式アースドリル仕様を追加したものであり、狭隘地などで増加する障害撤去作業に対応する。

リーダ式アースドリル仕様は、最大掘削トルク 196 kN・m、掘削深度 30.5 m（ロッキングケリーバ使用時）で、ケーシング、オーガ等による障害撤去作業が可能である。また、油圧式拡底バケットにも対応しており、障害撤去から拡底杭施工まで1台での施工が可能である。

障害撤去ではケーシングは最大掘削径φ1,500 mm（φ2,000 mmまで装着可能）で、拡底杭施工は new ACE1735 まで作業が可能である。

オプションで摩擦ケリーバも設定しており、摩擦ケリーバ装着時は、最大掘削トルク 117 kN・m、掘削深度 53.0 m まで施工可能である。なお掘削トルクは、使用するケリーバや先端工具によって5段階に設定することができる。

リーダ式専用のモーメントリミッタ装備により、13t につき（1本掛け）のクレーン性能を設定しており、クレーン検査を取得することで、アースドリルの補助作業に加えて現場での様々な荷役作業を安全に行うことができる。

サブフレームユニット方式により、本体は共通でブーム式またはリーダ式のアタッチメントを装着できるため、現場毎または現場内で用途に合わせてアタッチメントを組替えて作業することができる。また、サブフレームユニットはシリンダ操作により取付ピンの着脱が可能となっている（図-1 参照）。

分解組立や整備時の安全性に配慮し、ハウスとカウンタウエイト上面のハンドレールやキャットウォーク（左右・折畳式）を標準装備し、リーダ側面のステップおよびスタンションも準備している。

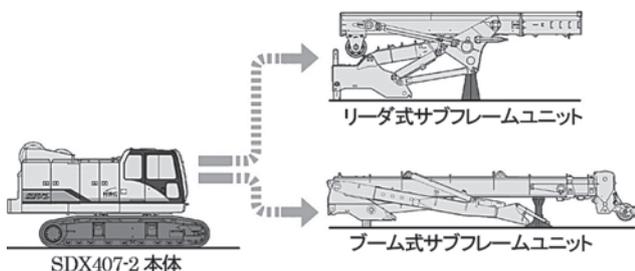


図-1 住友重機械建機クレーン SDX407-2 サブフレームユニット方式

表-1 SDX407-2 リーダ式アースドリルの主な仕様

リーダ長さ	(m)	17.0
最大掘削トルク	(kN・m)	196
エンジン定格出力	(kW/min ⁻¹)	147/2,100
ロッキングケリーバ	段数×長さ (m)	4 × 10.85
摩擦ケリーバ	段数×長さ (m)	5 × 13.0
最大掘削深度（ロッキングケリーバ時）	(m)	30.5
最大掘削深度（摩擦ケリーバ時）	(m)	53.0
補助つり能力（最大）	(t)	13.0
全装備質量	(t)	72
価格（リーダ専用機標準仕様/税別）	(百万円)	165.8

- (注) (1) 摩擦ケリーバはオプション。
 (2) 最大掘削深度はバケット接続ピン位置まで。
 (3) 全装備質量はロッキングケリーバ付き、ホースリール、先端工具なし時。



写真-1 住友重機械建機クレーン SDX407-2 リーダ式アースドリル

問合せ先：住友重機械建機クレーン(株)
 販売戦略室 販売企画部
 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目9番3号